

□ トピック □ 排煙窓、きちんとチェックしていますか？



排煙窓

火災の際に発生した煙を逃がし、安全に避難したり、被害を食い止めたりするための排煙窓が作動しないという故障や不具合が火災の発生後に見つかるという本末転倒な事例が時々あるようです。

排煙窓はロックを解除したら簡単に開くように、普段からワイヤーなどで締め付けるように固定されています。このように常に力が掛かっている排煙窓ですが、普段は使用されないため、あまり点検などは行われていない場合が多いと思います。このため、前述のワイヤーが伸びて半開きになっていたり、油切れで固着していたり、パッキン類が癒着していたり、外側から最近はやりの「緑のカーテン」が伸びてきて排煙窓が固定されてしまっている場合もあります。

もしもの時のための備えとしての排煙窓ですが、普段気にかけることが少ない分、定期的な点検項目に入れられてはいかがでしょうか？

□ お知らせ □ 「ビジュアルチェック」の活用を！

第三者機関がお客様の所にお伺いして、様々な状況をチェックや指摘を行う、いわゆる「第三者監査」が実施される機会が増えてきています。この監査では審査会社や納入先などの「第三者」が製造環境などを厳しくチェックするのですが、状況によってかなり手厳しい指摘を受けて是正を求められたり、環境によっては製品の出荷停止に陥られたりすることもあります。

弊社は異物混入防止のための衛生コンサルタントとして昆虫類や鼠族からの被害を防ぐための「生物害防除」や5S、7S、HACCPなどの衛生環境の状況確認をすることを目的として各現場で調査を行っています。この際、お客様のご要望に添って、AIBやISOなどの規格に応じたもの、あるいは労働災害防止や労働衛生等の視点からの調査を行うこともあります。

問題点やその改善状況の確認、より良い環境づくりのための調査などのご要望がありましたら是非ご一報ください。



弊社調査員による現場調査

□ 豆知識 □ 口に入れる木製品の正体は？

夏も過ぎて少し涼しくなりましたが、みなさんは今年もアイスクリームを食べられましたか？ 普段何気なく食べている棒アイスクリームやカップアイスに用いられるスプーンはどのような木から作られているのでしょうか？

檜風呂の「ヒノキの香り」、燻製に使用する「サクラチップ」のように、植物には独特の香りを持つものが多数あります。この香りがあるとアイスクリームの味は台無しになってしまいます。また、ササクレが生じやすい木も、問題があると口の中がズタズタになってしまうので使えません。色も毒々しい色では食欲がなくなりますね。さらに価格の問題もあります。これらの問題がなく、昔から愛用されている木の正体は「白樺(シラカンバ)」です。現在はほとんど中国産にとって代わられていますが、昔は北海道産の白樺だったそうです。さらに、アイスの棒の寸法は「平スティック」と呼ばれるもので何種類ありますが、主要なものは長さ「93mm」か「114mm」、厚み「2mm」、幅「10mm」ときっちり決まっているようです。仕上げも口に刺さらないよう、しっかりと表面処理がなされていますね。

さて、この白樺ですが、その樹液は虫菌になりにくい人工甘味料「キシリトール」の原料にもなり、樹液に含まれる成分にヒトの表皮の保湿を促進する効用があることから化粧品にも利用されています。また現在の皇后美智子陛下のお印にもなっており、日本人にはかなりなじみの深い木なのです。身近なもの、もっと調べてみると面白いですよ。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社：岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点：大阪、姫路、岡山、倉敷、福山、広島、高松、松山
関東(市川)